

平成30年度

# 結核予防週間 街頭キャンペーン

結核予防週間（9月24日～9月30日）の開始を前に、岡山市内において街頭キャンペーンを行いました。

《日 時》 平成30年9月22日（土） 13:00 ～ 15:00

《場 所》 JR岡山駅南地下道ももたろう観光センター前広場

《参加者》 岡山県・岡山市・岡山県診療放射線技師会・  
岡山県健康づくり財団 （総勢17名）



ポケットティッシュやリーフレットを配布しながら、結核予防の大切さを呼びかけました。

また、募金にはたくさんの温かいご厚志をいただきありがとうございました。

併せて、肌年齢や血管年齢を簡単にチェックできるコーナーを設け、多くの方にお立ち寄りいただきました。



## 「遺したいものは、それですか？」

今年の結核予防週間の標語です。正しい知識と早めの受診の大切さを広く知らせるため、結核予防週間を中心に、全国各所で結核予防の普及啓発活動が展開されています。

結核は過去の病気と思われがちですが、日本では今でも年間16,789人（1日に50人）の新規結核患者が発生し、2,303人（概数、1日に6人）が結核で亡くなっています。

※平成29年データ

2週間以上咳やタンが続く場合は医療機関で受診しましょう。家族等周りの人たちへの感染を防ぐためにも早期発見は重要です。また、症状がなくても、毎年定期的に健診を受けましょう！